

心房細動は脳梗塞や心不全を合併する不整脈の1つです。

私たちの最新の研究結果に基づき、心房細動の治療に対する反応は遺伝的素因（DNA）の影響を大きく受けるのではないかという仮説を持ちました。

もし、遺伝的素因の解明とそれらが治療に与える影響が明らかになれば、**心房細動を患う全ての患者さんに「あなただけの」最適な治療(=個別化医療)**を提供できるようになります。

FUTURE-AF研究は心房細動に対するこの個別化医療を確立するための基礎となる重要な研究です。この研究は遺伝情報の解析に多額の資金を必要としますが、公的な研究資金だけでは不十分であり、クラウドファンディングによる研究資金のご支援をお願いしております。

私たち研究グループは遺伝情報に基づく一人ひとりの患者さんに合った「あなただけの」最適な心房細動治療の確立を目指し、全力を注いでいます。

私たち医師及び研究者の人生と心房細動患者さんの未来をかけた本プロジェクトにぜひご支援をよろしくお願い申し上げます。

遺
伝
情
報
に
基
づ
い
た
あ
な
た
だ
け
の
最
適
な
医
療
(
個
別
化
医
療
)
の
確
立
を
目
指
し
て
い
ま
す



FUTURE-AF Study とは

ご両親から受け継いだ遺伝的な素因（DNA）が心房細動の進行や治療後の再発のリスクとなるであろうという仮説のもと、カテーテルアブレーションを受ける5,000人の患者さんを対象に遺伝情報を評価し、アブレーション後の経過との関連を調べる研究がFUTURE-AF Studyです。

お問い合わせ先

佐賀大学医学部 先進不整脈治療学講座

FUTURE-AF study 研究代表者 山口尊則

TEL 0952-34-2120

メールアドレス takanori@cc.saga-u.ac.jp



佐賀大学



佐賀大学医学部循環器内科



FUTURE-AF 研究実行委員会一同